

桑野造船株式会社

〒520-0243 大津市堅田 1-21-2 TEL:077-573-8001 FAX:077-573-8002

URL: <http://www.k-boat.co.jp> E-mail: kuwano@k-boat.co.jp

今年も残すところ、あと僅かとなりました。桑野造船の工場ではすでに来春に向けてのボートの生産が始まっています。右の会社目標も新たな挑戦に向けて更新の予定です。皆様におかれましては艇や艇庫、用具の整備を落着いておこなえる時期かと思えます。これらについてのいくつかの情報をお知らせいたします。

◇桑野造船 会社目標

確かな技術と情熱でヨーロッパ艇に挑戦！！
お客様にとってなくてはならない桑野になるために

- * すぐやる 必ずやる できるまでやる
- * 顧客側にたった徹底したサービス
- * 感性を豊かに (夢・感動・新感覚)

◇艇とオール of 整備

①艇体の小さな傷を放置する浸水して寿命を縮めたり、外観も悪くなって

艇の扱いまで粗雑になってしまい勝ちです。シーズンオフのいまこそ、艇の点検、修理を徹底的に行えるチャンスではないでしょうか。小さな傷は適正な材料と基本的な修理知識があれば、だれでもかなりうまく直せます。桑野では1月30日(金)~2月1日(日)の2泊3日のメンテナンス講習会を開催します。(定員10名、参加料不要)ご希望の方はお早めにお申し込み下さい。

②CFRP(炭素繊維強化プラスチック)オールも同様に小さな傷に応力が集中して折れたりする原因を作ります。安全確保のためにもぜひオールの傷の状況を確認される事をお勧めします。コンクリートの岸壁の離着岸でシャフトに白い小さな傷がついていたり、ブレードが削れている事がないでしょうか？樹脂を塗って傷を埋めるだけでも効果があります。

また、ピボットが磨耗してブレードに角度がついてしまいませんか？磨耗の程度が少ない場合はブレードの高い側を削って、ひどい場合はブレードを新品に差し替え、角度計で調整してください。オールの測定方法についてはホームページに掲載しております。オールが古くなった結果、柔らかさ(stiffness)が増加する心配はCFRPの特質から言ってありません。

艇の剛性テスト



艇体の剛性テストは縦、横、ねじれ方向の3要素を行っています。

(写真はE社4+艇のねじれ剛性(艇体+リガー)測定風景です。)

オールの stiffness(曲がり度)テスト



ネック部に10kgをつるして、オールの曲がり度(cm)を計ります。

ブレードの角度は資料を参考に測定と修正を行ってください。

◇お知らせ

- ・ 上記のメンテナンス講習会に参加ご希望の場合は資料をお送りしますので、弊社までご連絡下さい。また、ホームページにも掲載しておりますのでご参照下さい。この講習会を終了された方には今後メンテナンス使用材料を弊社が提供いたします。
- ・ FISA 型をはじめ、世界の多くの造船所で採用されている艇の設計者であり、製造技術についても世界のトップ技術者である、Klaus Filter氏がドイツから桑野に指導のため、1月に来日します。そのあと、1月10日(瀬田)、11日(戸田)で講演会が開催されます。いつもの『いかに強くなるか』とか『いかに上手く漕ぐか』のテーマではなく、艇への基本知識を増していただく絶好のチャンスです。詳しくは瀬田漕艇倶楽部(<http://setarc.jp/> 077-545-9961)までご確認ください。
- ・ 来春4月からの国立大学の法人化移行に伴う保有艇の再評価作業が必要と思われる場合があります。桑野造船では専門の立場からボート部の艇及び備品の資産査定のお手伝いをいたします。期日間近になると混雑することが予想されますのでお早めのご相談をお待ち致します。
- ・ 6人乗りナックルフォア(新艇)を在庫処分致します。新人訓練用、遠漕用として重宝いただけると思えます。お問い合わせ下さい。

BOAT TIMESの配信停止をご希望される方は、お手数ですがFAX(077-573-8002)又はE-Mail(kuwano@k-boat.co.jp)で当社までご連絡下さい。また、ご意見・ご感想などもお待ちしております。

お手数ですがボート関係者へお渡しをお願いいたします。